

県P連だより

広島県PTA連合会

陽だまり No.77

楽しい子育て全国キャンペーン 三行詩

～家庭で話そう！ 我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～

令和7年度 広島県PTA連合会賞 受賞作品

今年も皆さんの日常や関係が垣間見える素敵な三行詩がたくさん集まりました。
ご応募ありがとうございました。

小学生の部

廿日市市立佐方小学校 4年
蔵本 明音

「おかえり」
母のことばに
心ほっとする

三原市立本郷小学校 1年
岡崎 彩花

おかあさんのごはんおいしいな
いっぱいたべてうれしいな
もりもりわくわくたのしいな

安芸郡府中町立府中南小学校 2年
尾田 遥陽

おさらあら
ピカピカにしたよ
みんなニコニコうれしいな

安芸郡府中町立府中南小学校 2年
竹内 大葵

ぼくが笑うと家族も笑う
ぼくがおこると話をきいてくれる
ぼくが泣くとギューとしてくれる
家族っていいな

安芸郡府中町立府中南小学校 3年
中嶋 大翔

しゅうまつの家ぞくがそろそろ
夕食は、
「がんばったね」とたがいにかんぱい。

中学生の部

廿日市市立阿品台中学校 2年
石川 咲奈

大丈夫？
言える優しさ
大切に

庄原市立西城中学校 3年
荒木 佐織

志望校 どこがいいかと聞く私
答える両親 あたかく
「あなたが選んだ未来なら 応援するよ 全力で」

庄原市立西城中学校 2年
櫃田 歩由

私が歌うと 家族も歌う
家族が笑えば 私もうる

庄原市立西城中学校 3年
荒木 健汰

あの頃は
悪魔に思えた兄ちゃんが
今となつては友達みたい

庄原市立西城中学校 3年
上岡 洋輝

毎年続く 家族のクリスマス会
いつまでも続けたい 家族とのプレゼント交換

一般の部

安芸郡府中町立府中南小学校
尾田 加奈子

本当の心
やっと気づけた
親子げんか

安芸郡府中町立府中南小学校
加藤 正裕

楽しいことは6倍で
悲しいことは1/6倍に
家族みんなで分かち合う

東広島市立三津小学校
澄川 和生

息子へのラインはいつも
「ちゃんとごはん食べよるか」
伝えたいことは たくさんあるのに

呉市立明徳中学校
荒森 圭子

反抗期？
トゲトゲ チクチク ハリネズミ。
大丈夫！
いつでもそっと 見守ってるよ。

福山市立熊野小学校
貝田 織香

不思議だな。
疲れて動けぬはずなのに、「おかえり！」と
『ギューッ！』のお陰で力がぐんぐん湧いてくる。
待ってね。美味しいご飯を今作る。



第73回日本PTA全国研究大会 第81回日本PTA東北北陸ブロック研究大会

石川大会

「サステナブルな未来づくりのために」
～創造と協働を 石川から～

8月22日(金)、23日(土)に第73回日本PTA全国研究大会が石川県で行われました。

「サステナブルな未来づくりのために～ 創造と協働を 石川から～」を大会テーマに、全国のPTA会員の皆様が日々の活動の活性化に向けて様々実践や情報を共有する大変貴重な場として開催されました。



全体会

2日目の全体会では『能登の創造的復興と学びの環境』を演題に、石川県副知事の浅野大介氏をご講演されました。生業の再建とともに子どもたちの学習環境の再建・魅力化なくして持続可能な復興は成立しない。災禍前に戻すというより、先を見据えた未来志向のものであるとのことでした。

講演は浅野氏が文科省とともに「GIGAスクール」を推進した頃に構想した「未来の教室」のお話や、教科横断的な学習を交えたお話など、能登に限らず全国各地に通ずる内容でした。



奈良大会開催 !!

令和8年8月21日(金)、22日(土)
第74回日本PTA全国研究大会



分科会 特別第2分科会

1日目に参加した特別第2分科会では、文部科学省協力のもと、『学校教育における防災の学び』を研究課題とし、昨年の能登半島地震とその後の豪雨災害から得られた教訓をどう生かしていくかを考えました。

防災教育は、単に生命を守るためのものではなく、防災を通じた教育と捉え、子どもたち自身の主体性や社会性、郷土愛や地域を担う意識を育む効果や、地域と学校が連携して取り組むことで大人が心を動かされ地域の防災力を高める効果も期待されるということです。学校の防災教育で学んだことを地域で生かし、地域で学んだ経験や課題をさらに学校で生かすという「学びの往還」が大切だと考えられています。



石川大会に参加して

これからの予測できない変化の中で、持続可能(＝サステナブル)な未来を描き、子どもたちを育む理想的な環境を実現するためには、自らの学びをアップデートすることが必要だと考えます。子どもたちの未来のために大人が共に学び合うこと。この全国大会でも、PTAの繋がりの大切さを改めて感じることができました。

第55回日本PTA中国ブロック研究大会 広島市大会

8月2日(土)、広島県立総合体育館で開催されました。本会は、現地参加とウェブ参加の同時進行で実施されました。会場には県内外からたくさんの方が集まりました。会場にはたくさんのブースが設けられ、様々な単位PTAの取り組みや学校の取り組みなどが紹介されていました。多くの方々の日ごろの熱心な活動を見ることができました。

講演会も実施され、講師として高橋知己様が講演されました。この講演は、来場された方も参加する形で行われました。近くの人とディスカッションをする、その結果を発表する、来場者の方の意見をチャットを使って即座に集計して可視化しみんなで共有できるようにするなど、来場された方が自ら考えて主体的に参加できるようたくさんの工夫がされていました。その為、参加した方は自分事として進んで考えることができ、それぞれが考えを深めることができた時間になりました。

本会での学びを生かし、これからも「いじめ撲滅」のための「つなげる心」の大切さを、それぞれの単位PTA、家庭に持ち帰り生かしていくことができる、とても有意義な時間になりました。



岩本会長コラム



能登輪島市被災地訪問

11月1日～2日に広島県PTA連合会初となる研修事業に行ってきました。これは全国的にも例がない大きな活動でした。

能登半島で起きた地震災害に豪雨災害など立て続けに被災された石川県輪島市PTA連合会会長様のご厚意と、石川県輪島市PTA連合会に対し、募金活動を行い、寄付をされたことでご縁のあった尾道市PTA連合会のご協力により実現することができました。

みんな楽しかったかな?いろいろなことがいっぱい学べたと思います。輪島市PTA連合会会長が言われていた今後に活かせるようにがんばってくださいね。

実際に災害を目にし、被災された輪島市PTA連合会会長のご講演を聞いた子供たちはしっかりメモを取り真剣に防災に対して学習していました。実際に被災と復興しているのを見て、子供たちが肌で感じたからだと思いました。目的である防災学習ができました。そしてもう一つ県内の子供たちの交流が目的でした。中には仲良くなり研修中の課題を一緒にクリアしたことで、かけがえのない絆ができ、別れを惜しんでいたみたいでした。

今後もこのような子供たちのためにしっかりと活動していきたいと思いますので、引き続きご協力とご理解のほどよろしくお願いいたします。

能登被災地訪問研修事業については次号の陽だまりで詳しくご紹介いたします!



hiroshimaken-pta.com

広島県PTA連合会のホームページを紹介します!

ホームページには、 こんな情報が載っています!

- ▶ 県P連の活動方針と目標、組織図について
- ▶ 研修会・研究大会について
- ▶ 理事会議事録
- ▶ コンクール等の募集要項
- ▶ 県P団体保険・総合保障制度について
- ▶ 広報紙(過去発行分)
- ▶ ようこそ会長室へ(会長からのメッセージ) など



<http://hiroshimaken-pta.com/>

ホームページは
こちらへアクセス!
または
「広島県PTA連合会」で検索

PTA活動中のケガなどは、
県P団体保険にご連絡ください。
詳しくはHPをご覧ください。

申込不要!
会員みんなが
対象です

〇〇〇広島県教育委員会コラム〇〇〇

『本、読んでますか??』

皆さんが最近、本を手にとられたのはいつですか？昔は月に1冊は本を読んでいたのに、日々の忙しさに追われ、いつの間にか読書から遠のいてしまったという方も多いのではないのでしょうか。そうした「大人の読書離れ」に着目した一冊、三宅香帆さんの「なぜ働いていると本が読めなくなるのか」が今年、新書大賞を受賞しました。

明治時代から現代に至るまでの仕事と読書の関係について、各時代のベストセラーに照らし合わせて深掘りされており、読書から離れた大人がもう一度本に親しむヒントが詰まっています。

本を読まなくなっているのは大人だけではなく、県教育委員会が令和6年度に行った調査では、小・中・高等学校の各学校段階で、1か月に1冊も本を読まない子供の割合は5年前に比べて増加しています。

県教育委員会では、令和7年2月に「広島県子供の読書活動推進計画（第五次）」を策定しました。「生涯にわたって読書に親しみ、人生をより深く豊かに生きようとする人づくり」を基本理念とし、「子供が読書を楽しみ、主体的に本を読む」ことなどを目標に掲げています。近年のデジタル化の進展を踏まえ、学校の一人1台端末等を活用して、時間や場所を問わず読書を楽しむことができる「電子書籍の充実」などにも取り組みます。

また、幼いお子さんには保護者の方による絵本の読み聞かせをおすすめしています。絵本を親子で楽しむ時間の大切さや、子供とのかかり方で大切な視点などをわかりやすくお伝えするため、乳児編・幼児編に分けて、「絵本」をテーマとした保護者向けリーフレットを作成しました。

読書には、人生をより豊かにする力があります。一冊の本が新しい世界にいざなってくれるかもしれません。その経験は子供たちの未来を切り開く鍵となるでしょう。

ぜひ家庭での読書の時間を大切に、子供と一緒に本を楽しむ時間を持ていただくと幸いです。



「遊び」は「学び」リーフレット

『朝食と体力』

皆さんは、朝食を毎日食べていますか？

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、約80%の児童生徒（小学校第5学年及び中学校第2学年）が朝食を「毎日食べる」と回答しています。逆を言えば、約20%の児童生徒は朝食を食べない日があるということです。これを多いと見るか、少ないと見るか…

「朝食の状況」と「総合評価と体力合計点」の相関を見ると、「毎日食べる」と回答した児童生徒のみ、体力合計点が全国平均値を上回っています。さらに、「1週間の総運動時間」においても「毎日食べる」と回答した児童生徒のみ、1週間の総運動時間が全国平均値を上回っているのです。

このように、朝食の状況と体力の向上には大きな相関関係があります。朝食を毎日食べることが、体力の向上において重要な役割を担っていると言えます。

さて、「陽だまりNo.76」でお知らせしました「ひろしま給食」100万食メニューについて、テーマを「世界の料理に挑戦!!～地元食材の魅力再発見～」として募集を行いました。今年度も多数の応募があり、県民投票によって、「ひろしま給食」100万食統一メニューは、「広島菜とタコのカレーピラフ」に決定しました。このメニューは、他の「ひろしま給食」100万食メニューとともに、令和8年1月24日～30日の全国学校給食週間を中心に、県内の学校給食等で提供されます。

朝カレーは、スパイスが交感神経を刺激し、身体を活動モードに切り替えるのを助けたり、代謝を促進したりする効果が期待できると言われています。ぜひ家庭でも、朝食の一品としてチャレンジしてみてください。

この機会を通して、学校給食だけでなく、食事への理解や関心を高めるとともに、子供たちの健全な心身の発達に資することを期待しています。

■広島県教育委員会ホームページ

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/juten-kyusyokusuisin.html>



広島菜とタコのカレーピラフ

メディカルアシストで お子様の健康相談を 24時間受付

●誤って他人のものを
壊したり、他人にケガを
させてしまった場合などの
加害事故の補償

職場体験等に起因する法律上の
賠償責任も対象になります。

●授業中やクラブ活動など、
校内外を問わず発生
する急激かつ偶然な外来
の事故によるケガや病気*
の補償

*病気入院補償は
H・W2・W1プラン
のみ対象です。



団体割引適用で
割安な保険料！

団体割引25%
損害率による割引5%適用

●学校管理下中の学用品・
身の回り品などの補償
●育英費用（H・W2・W1・Aプラン）等

充実の補償でお子様をサポートします。

広島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度は団体総合生活保険のペットネームです。

この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず広島県PTA連合会ホームページに掲載の「重要事項説明書」をよくお読み下さい。

詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。

この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険株式会社が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

令和7年7月作成 25TC-001494

引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店：(株)東京海上日動パートナーズ中国四国
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島支社

TEL：0120-018-217
TEL：082-511-9194

パンフレットは左記「お問合せ先」にご請求下さい。

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP